

4月22日2年看護医療類型の看護医療学基礎の授業に兵庫大学の森田恵子教授に来ていただき、看護師の仕事についての



講義をしていただきました。23日には3年看護医療類型の看護医療総合の授業に兵庫県立総合衛生学院から伊藤由希子先生にお越いただき(写真左)助産師の仕事について講義をいただきました。助産師になるための方法として、まずは看護師の資格取得が必要であり、4年制看護系大学卒業、看護系短期大学3年卒業、看護系専門学校3年卒業、准看護師学校2年+専門学校2年という方法があることや助産師資格取得にはその後、専門職大学院、専門学校コース等引き続きの学習が必要であること等道のりの厳しさと同時に助産師としての仕事の責任の重さを話されました。

本校では3年生24名、2年生27名が看護医療類型に進んでおり、関心の高さと人のために働きたいという責任感を持った生徒が集まっていることがよくわかります。面談をしても、その動機は保護者や親族に看護師がおられたり、小さいころの入院経験や病院での経験があったりして志すようになったという理由が多く、今後の成長に期待するばかりです。道のりが険しい分達成感も大きくなるでしょうし、期待もされるようになると思いますので自らの体調管理をしっかりとして社会に貢献できるように頑張って下さい。



4月24日には、ソフトテニス男子の東播地区予選会(個人)が行われました。惜しいところで県大会出場を逃したということですが、団体



戦に向けて気持ちを切り替えて頑張ってください。また、陸上部は兵庫ルーカールに出場。オープン種目高校男子

円盤投で2年山口選手が47m46の大会新記録で優勝を飾り、全国大会への期待が大きく膨らむ結果を残しました。25日の神戸新聞運動面にも大きく取り上げられ、今後に向けて大きな弾みとなりました。おめでとうございます。男子4×400mリレーでは、準決勝までは競り合うチームもなく予定通りに勝ち上がり、迎えた決勝では、要所要所で詰め切れず、3位と悔しい結果に。個人の持てる力は発揮できたと思いますが、この悔しさをばねにしっかりと仕上げて昨年先輩たちが果たせなかった全国大会での活躍を果たしてほしいと思います。



25日には野球部が春季県大会の初戦を迎えました。感染防止対策が徹底された中で大会運営

で保護者の観覧もできない状況です。昨年とは違い今年は、力を試す機会を与えられていますので、大会関係者に感謝の気持ちをもって本校生も臨みました。初回とても良い形で先制点が入り、3回の攻撃では集中打を浴びせて3点を獲得。考えたプレーができていることに冬の成果を感じました。ピッチャーの足立選手も落ち着いたテンポの良い投球で要所要所を締め、中盤危ない場面もありましたが、最後までしっかりと投げ切り完封勝利。初回、3回、9回に得点が入るなど理想的な試合運びに夏への期待感が高まりました。これで夏の甲子園予選のシード権を獲得。次戦はベスト8を賭けて滝川第二と戦います。自分たちのプレーを心掛け挑

戦する気持ちを忘れず頑張してほしいと思います。

他にも剣道部が東播地区予選に出場し、3年都地選手は惜しいところで県大会出場を逃したと報告がありました。部員が少なく苦戦続きですが、何とか繋いでいってほしいと思っています。

29日以降は県総体予選、県総体が始まります。以下に大会日をまとめておきます。

東播磨地区予選会 バドミントン 4月29日から5月2日 ソフトテニス 団体4月29日 女子個人5月1日
卓球 5月1日・2日 陸上 5月8日・9日

県総体 バレーボール男女 5月8日から バasketボール男女 5月8日から 柔道 6月2日から4日
バドミントン 5月28日から 陸上 5月28日から30日 女子ソフトボール 5月28日から
水泳6月24日から

4月25日に緊急事態宣言が発出されました。注意点は以下の通りです。

- ① 不要不急の外出を控える
- ② マスクの着用、手洗いの励行と毎日の検温による健康チェック
- ③ 食事の際、会話はできるだけ控え、食べる時以外はマスクの着用を徹底
- ④ 十分な換気と身体的距離を保つ

部活動における注意点では、部室等更衣の場面でマスクを外す場合は会話を控える、食事の場面はできるだけ間隔をとり対面せず会話を控える、活動後の手洗いとうがいの実施となっています。活動場所や時間については前号で示した通り、県外での活動はしない、合宿等宿泊を伴う活動の禁止、練習試合等は最少人数で、活動時間等は生き生き運動部活動指針を厳守など制限はあるものの概ね認められています。認められていることについて私たち自身が気を付け、マナーを守り、感染防止対策に努めなければなりません。

学校に持ち込まない、家庭に持ち込まないためには自らが濃厚接触者にならないようにするために私たち自身でできる感染防止対策を継続し、規則正しい生活を送ることで免疫力を高め、この厳しい状況を克服していかなければなりません。私たち自身で私たちの活動を守るということを頭において、日々の生活をしましょう。そして、行事に関しても生徒の皆さんが作り上げるものですから例年通りとはいかないまでもどこまでならできるか、どうすればできるかをみんなで知恵を出し合って今年ならではの行事にしたいと思っています。よろしくお願ひします。